

広島市の土砂災害警戒情報の 発表区域変更について

広島市・広島県・広島地方気象台

発表区域（二次細分区域）の変更

発表区域の名称と対象区域

現行：広島市

変更後：広島市中区、広島市西区、広島市東区、広島市南区

広島市佐伯区、広島市安佐南区、広島市安佐北区、広島市安芸区の
8区に分割

行政区の名称を使用した方が誤認なくわかりやすいと考えられる

変更前



変更後



現行の23市町から広島市を8区に分割した30市町区に発表区域を変更

システムの変更について

変更例

【訓練】 この情報は訓練です。取扱いに注意してください。

広島県土砂災害警戒情報 第3号

令和3年6月1日 12時00分

広島県 広島地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】

広島市東区 広島市南区 広島市安佐南区* 広島市安佐北区*

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒解除地域】

広島市西区 広島市佐伯区 東広島市

【警戒文】

（訓練）これは訓練です。

<概況>

降り続く大雨のため、土砂災害警戒区域等では命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況です。

<とるべき措置>

避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル4相当情報「土砂災害」】。崖の近くや谷の出口など土砂災害の発生しやすい地区（土砂災害警戒区域等）にお住まいの方は、市町から発令される避難勧告などの情報に留意し、少しでも安全な場所への速やかな避難を心がけてください。

【補足情報】

市町内で危険度が高まっている区域は、広島県や気象庁のホームページ等でも確認できます。

広島県「土砂災害危険度情報」

<http://www.d-keikai.pref.hiroshima.lg.jp/>

気象庁「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/#area=hiroshima>



警戒対象地域
警戒解除地域

分割化に至った経緯①

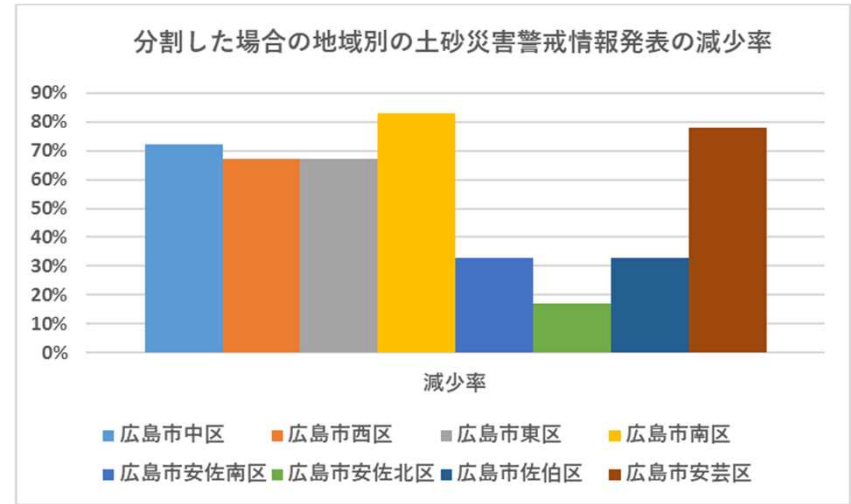
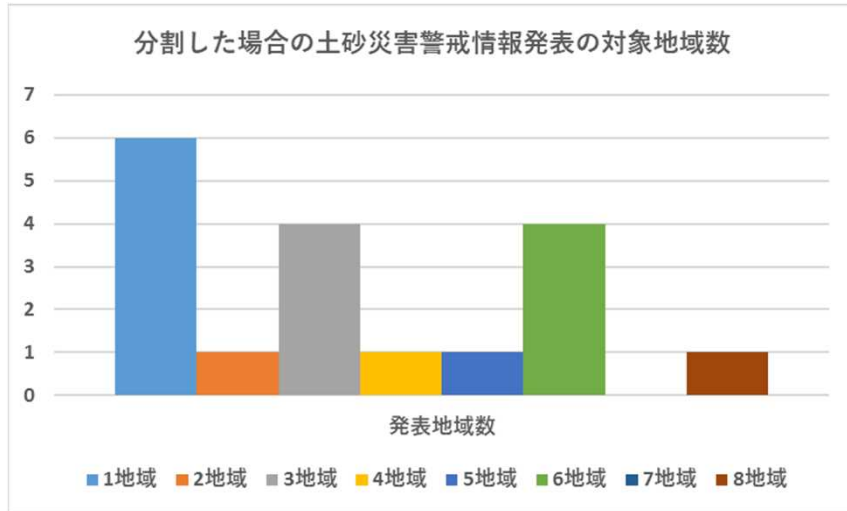
- 広島市では大雨注意報・警報の発表時に注意喚起を行っているが、地域によっては降雨がない場合があり、住民の防災情報に対する信頼感の低下や、避難勧告等に対する避難行動が適切に行われなくなるなどの懸念から、平成29年8月に「大雨及び洪水に関する気象警報・注意報の発表区分に関する要望書」をとりまとめ気象庁へ提出している。
- 広島市は政令指定都市で合併により広大な面積を有しており、区長の判断で避難情報を発令できる体制となっている。
- 広島市は地域によって気象条件に差が大きいため、行政区単位で防災対応を行っているが、土砂災害警戒情報は発生地域に関係なく広島市として発表される（土砂災害警戒情報は原則として市町村単位で発表する情報）。

分割化に至った経緯②

- 気象庁は大雨警報（土砂災害）の危険度分布などの情報を発信しているが、これらの情報を住民の方に、より積極的に活用していただくには、自分の住んでいる地域で土砂災害の危険が高まっていることを意識してもらえる情報とすることが肝要となる。
- 現時点では、警戒レベル4の段階で避難行動をとっていただくことが課題でもあり、警戒レベル4相当情報の重要性が高く、土砂災害警戒情報の発表区域を分割することが地域の防災対応の改善となる。

広島市を行政区ごとに分割発表した場合の効果

平成26年以降、広島市に土砂災害警戒情報を発表（18事例）
した事例から対象区を選別



- ・広島市全域（8区）に影響を及ぼす事例は少なく、全域が対象となった事例は1回
- ・発表回数の少ない5区は67～83%の割合で発表回数が減る
- ・安佐南区、佐伯区でも33%と発表回数の減少が見込まれる

結果

発表区域を行政区ごとに分割することで、気象状況に応じた発表対象地域の絞り込みが的確に行える

住民に馴染みのある行政区での分割により、我が事感を持つことができ、これまで土砂災害を経験した広島市だからこそ細分化は有効と考える

その他

広島市の土砂災害警戒情報の発表区域変更後には、
広島市の警報・注意報の発表区域の細分を検討し
ている